

～ ふるさとを愛し 自ら学び 未来を切り拓く建屋っ子の育成 ～

建小 NEWS

養父市立建屋小学校 学校だより
令和5年5月29日 No.5



6人の活躍が光った 4泊5日の自然学校

5月22日(月)から5日間、5年生の児童6名が養父・大屋連合自然学校に参加しました。総勢78名での活動に、最初は緊張や戸惑いが見られた6名でしたが、班のポスターを作る頃にはすっかり打ち解け、生き生きと交流する姿が見られました。幸い雨の影響はほとんどなく、初日のキャンプファイヤー以外はすべて計画通りに実施することができました。

今年からプログラムに加わった「氷ノ山登山」では、大段ヶ平からの登山道が前日の雨でぬかるみ、滑って転んだり、泥んこになったりといった場面もありましたが、山頂までの2.6kmの道のりを励まし合いながら登る頼もしい姿が見られました。参加児童全員が登頂に成功し、360度の大パノラマを前に、美味しいお弁当を食べました。(この日のお弁当は、氷ノ山で採れた「すずのこ」のおにぎりでした。)

他校の児童と連合で行う自然学校は、集団生活について学んだり、視野や人間関係を広げたりできる貴重な機会です。たくさんの人や自然にふれ、心も身体もたくましく成長した5日間でした。ご協力、ご支援いただきました皆様に、心から感謝申し上げます。

1日目：開校式、オリエンテーション



2日目：鉱山学習、野外炊飯(カレー作り)



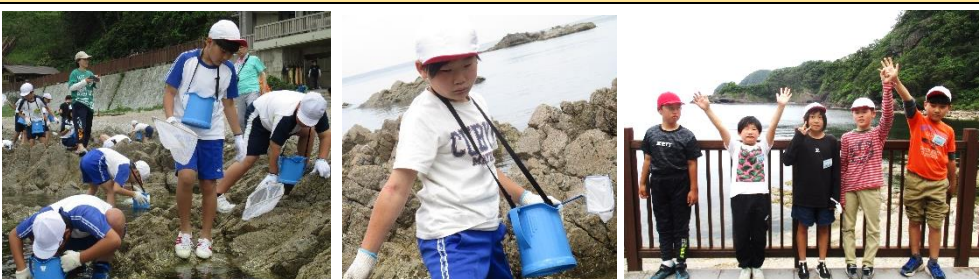
3日目：「氷ノ山登山」 山頂でお弁当 Time



4日目：カッター・カヌー・カヤック体験



5日目：竹野スノーケルセンターで磯観察、閉校式



「自分と仲間と自然のこえをきく」をテーマに、担任(教職員)と児童6名が力を合わせて頑張りました！！

ふるさと探検隊 3・4年が行く！ パート2

5月18日（木）、初めてタッキー号に乗り、「建興寺」と「楯縫神社」に行ってきました。ドライバー兼案内人の藤原隆夫さんや檀家総代の吉田博治さんに、次から次に質問をする3・4年生。建興寺がある場所は、小学校発祥の地。約150年前にタイムスリップして、当時の学校の様子を想像しながらお話を伺いました。

建興寺の次に向かったのは、楯縫神社。境内を歩き周りながら色々な生き物に遭遇し、歓声をあげる子ども達。建屋の歴史や自然、文化について学ぶ旅は、まだまだ続きます。



ふるさと探検隊 1・2年が行く！

歩いて「おさんぽ」に出かけた1・2年生。能座のシンボル「かやのきさん」の前で楽しく記念撮影。



5月22日(月)



MEMO

「トライやる・ウィーク」受け入れ 5月29日（月）～3日間

建屋小学校の卒業生である太田垣悠亜さんと高瀬柚奈さんの2名が、「トライやる・ウィーク」で本校に来てくれることになりました。「子ども達と関わるのが好きなので、早く仲良くなって活動したい。」と話す太田垣さん。「トライやる・ウィークの中学生と休み時間にドッチボールやおにごっこをした楽しさが印象に残っていて、自分も人を楽しませたり、笑顔にしたい。」と語る高瀬さん。3日間と短い期間ですが、キャリア学習の一環として、多くのことを学んでほしいと考えています。2人には、主に1年生と一緒に活動してもらいます。

YABU スクールチャレンジ事業

表現する楽しみや造る喜びを実感できる造形指導

養父市では、「学校のアイデアを生かした特色ある教育活動の推進」「教職員の指導力向上」を目的に今年度から「YABU スクールチャレンジ事業」を始めました。

本校は、この事業を活用して「表現する楽しみや喜びを実感できる造形指導」をテーマに実践を行うことにしました。毎週金曜日、三方和也先生（大屋町在住）に来校いただき、図工の複数指導をしていただくほか、作品づくりのアイデアや指導法を伝授いただき、子ども達はもちろん先生方にとっても「ドキドキ・ワクワクする図工の授業」となるようご支援いただきます。造形を通して、子ども達の豊かな心・感性を育みます。



●5月26日(金)
子ども達一人一人に、丁寧なアドバイスをされる三方先生。

